

## 5 国立文化財機構

国立文化財機構は、東京国立博物館、京都国立博物館、奈良国立博物館、九州国立博物館の4博物館を設置し、有形文化財を収集し、保管して国民の皆様の観覧に供するとともに、東京文化財研究所、奈良文化財研究所を加えた6施設において調査研究などを行うことにより、貴重な国民的財産である文化財の保存と活用を図ることを目的としています(国立文化財機構ホームページ：<http://www.nich.go.jp>) (図表 2-7-27)。

現在国立博物館では国宝・重要文化財を含む約12万件の文化財を所蔵しています。また、これらの文化財を活用し、平常展、企画展などを通じて日本の歴史・伝統文化や東洋文化の魅力を国内外に発信する拠点としての役割も担っています。平成21年度においては、「興福寺創建1300年記念 国宝 阿修羅展(東京国立博物館)」、「開山無相大師650年遠諱記念 妙心寺(京都国立博物館)」、「国宝鑑真和上展(奈良国立博物館)」、「聖地チベットーポタラ宮と天空の至宝(九州国立博物館)」などの特別展を開催しました。

東京文化財研究所では、日本・東洋の美術・芸能の調査研究や文化財の保存に関する科学的な調査、修復材料・技術の開発に関する研究を行うとともに、海外の博物館・美術館が所蔵する日本古美術品の修復協力、アフガニスタンやイラクの文化財保存修復に関する協力など国際交流を進めています。奈良文化財研究所では、遺跡、建造物、歴史資料などの調査研究や平城宮跡、飛鳥・藤原宮跡の発掘調査などを進めるとともに、全国各地の発掘調査などに対する指導・助言や発掘調査を行う専門職員などに対する研修を行っています。

図表2-7-27 国立博物館



### 東京国立博物館

我が国の総合的な博物館として、日本を中心にして広く東洋諸地域にわたる美術や考古資料などの有形文化財を収集・保管・展示するとともに、美術に関する図書・拓本・写真などの資料を収集して研究者に公開し、あわせてこれらに関する調査研究・出版物の刊行を行っています。



### 京都国立博物館

平安から江戸時代の京都文化を中心に、文化財を収集・保管・展示するとともに、これに関する調査研究を行っています。そのほか、文化財の修復や模写、研究を行うための文化財保存修理所を設置しています。



### 奈良国立博物館

仏教美術を中心とした文化財について収集・保管・展示するとともに、これに関する調査研究などを行っています。そのほか、文化財の修復や模写、研究を行うための文化財保存修理所を設置しています。



### 九州国立博物館

「日本文化の形成をアジア史的観点から捉える」博物館として、旧石器時代から近世末期(開国)までの我が国の文化の形成について、アジア諸地域との「交流」という視点から、文化財の収蔵・展示・調査研究・博物館科学などを行っています。また、伝統的技術と科学的な技術を融合した保存修復を実施しています。



携帯型蛍光X線分析計を用いた  
顔料の非破壊分析  
(インド アジャンター石窟壁画)

### 東京文化財研究所

文化財全般の基礎的・体系的な研究，保存科学，修復技術に関する先端的・科学的な知見，技術を集約した拠点としての役割を担っています。また，海外の博物館・美術館が所蔵する日本古美術品の修復協力，アフガニスタンやイラクの文化財保存修復に関する協力など，国際交流を進めています。



平城宮大極殿院の調査全景

### 奈良文化財研究所

歴史，美術，建造物，庭園などの貴重な文化財について調査研究をしています。平城宮跡や飛鳥・藤原宮跡の発掘調査を進めるほか，新たな保存技術と研究方法を開発し，全国各地の発掘調査，保存，修復，整備，復元に対する協力・助言，研修などを行っています。また，東アジアとの研究交流や東南アジア諸国への研究支援も行っています。

## 6 国立劇場

### (1) 伝統芸能の保存・振興

我が国の伝統芸能の保存と振興を目的として，国立劇場，国立演芸場，国立能楽堂，国立文楽劇場，国立劇場おきなわの5館において，歌舞伎，大衆芸能，能楽，文楽，組踊などの伝統芸能の公開や伝統芸能の伝承者の養成，伝統芸能に関する調査研究・資料収集・展示，劇場施設の貸出しなどを実施しています(参照：日本芸術文化振興会ホームページ：<http://www.ntj.jac.go.jp>)。

平成21年度は，公演事業として歌舞伎「京乱噂鉤爪」(国立劇場)，能「野馬台の詩」(国立能楽堂)，文楽「天変斯止嵐后晴」(国立文楽劇場・国立劇場)，組踊「遁ぎれ，結婚」(国立劇場おきなわ)などの新しい作品を上演しつつ，古典作品の継承にも力を入れ，5館で計185公演(1,056回)を実施しました。伝承者養成事業では，歌舞伎俳優6名，歌舞伎音楽3名，大衆芸能1名が研修を修了しました。また，各館において展示や各種講座等を実施し，伝統芸能に関する理解促進と普及に努めています。

なお，平成21年度には国立演芸場が開場30周年，国立文楽劇場が開場25周年を迎え，それぞれの劇場で盛大に記念公演を行いました。

### (2) 現代舞台芸術の振興・普及

我が国の現代舞台芸術振興の拠点として，平成9年10月に新国立劇場が開場し，オペラ，バレエ，現代舞踊，演劇等の公演の実施や，現代舞台芸術の実演家などの研修，現代舞台芸術に関する調査研究・資料収集・展示，劇場施設の貸付けなどを実施しています(参照：新国立劇場ホームページ：<http://www.nntt.jac.go.jp>)。

平成21年度は，公演事業としてオペラ「ヴォツェック」，バレエ「くるみ割り人形」，現代舞踊「金森穰 Noism09」，演劇「ヘンリー六世」などの意欲的な作品を含め，計35公演(248回)を実施しました。実演家研修事業では，オペラ5名，バレエ6名，演劇14名が研修を修了しました。また，新国立劇場や新国立劇場舞台美術センター資料館において展示や各種講座などを実施し，現代舞台芸術の理解促進と普及に努めています。

図表2-7-28 国立劇場



### 国立劇場

我が国の伝統芸能の保存と振興を図ることを目的として、歌舞伎・文楽・舞踊・邦楽・雅楽・声明・民俗芸能等の公演を行っています。また、歌舞伎俳優・歌舞伎音楽・大衆芸能等の伝承者の養成、伝統芸能に関する調査研究・資料収集等の事業を実施しています。敷地内に伝統芸能の普及に資するための伝統芸能情報館を併設し、広く国民の利用に供しています。



### 国立演芸場

大衆芸能の保存と振興を図ることを目的として、落語・講談・浪曲・漫才・奇術・曲芸などの公演を行っています。施設内の展示室では演芸に関する資料展示を実施しています。



### 国立能楽堂

能楽の保存と振興を図ることを目的として、能と狂言の公演を行っています。また、能楽の伝承者（ワキ方・囃子方・狂言方）の養成、能楽に関する調査研究・資料収集などの事業を実施しています。



### 国立文楽劇場

人形浄瑠璃文楽を中心に上方芸能の保存と振興を図ることを目的として、文楽・舞踊・邦楽・大衆芸能・特別企画などの公演を行っています。また、文楽技芸員（大夫・三味線・人形遣い）の養成、文楽等に関する調査研究・資料収集等の事業を実施しています。



### 国立劇場おきなわ

組踊・琉球舞踊・琉球音楽などの公演事業を通じ、広く沖縄の伝統芸能を鑑賞する機会を提供するとともに、沖縄の芸能に影響を与えた本土の芸能、アジア・太平洋地域の芸能を紹介しています。また、組踊の伝承者（立方・地方）の養成、沖縄伝統芸能に関する調査研究・資料収集などの事業を実施しています。



### 新国立劇場

オペラ劇場・中劇場・小劇場の3つの劇場を備え、オペラ・バレエ・現代舞踊・演劇などの現代舞台芸術の公演を行っています。また、次代を担うオペラ歌手・バレエダンサー・俳優などを育成するための研修を行い、現代舞台芸術に関する調査研究・資料収集などの事業を実施しています。